

令和5年度第1回 財政健全化専門部会 質疑応答要旨のポイント

分野	質問者	回答者
・令和4年度福井市決算状況について ・財政再建の実施状況について	【委員】 実質公債費比率の説明が、国の税込増に伴い、臨時財政対策債が減少したとあるが、この意味は。	【市】 実質公債費比率は、標準財政規模に占める公債費の割合となるが、標準財政規模は臨時財政対策債を含めて計算するかたちになっている。 臨時財政対策債は、国の税込増により普通交付税の配分が大きくなったことで減少し、その結果、標準財政規模も減少したことから、実質公債費比率は10.8%となった。
	【委員】 臨時財政対策債は普通交付税の振りかわりなので、臨時財政対策債が増えれば交付税が減るし、交付税が増えれば臨時財政対策債が減ることから、両方を足した金額は似たような金額になり、標準財政規模は変わらないのではないかと。	【市】 標準財政規模は標準税収入額に普通交付税額と臨時財政対策債の発行可能額を足したものである。 実質公債費比率は3ヵ年平均で出しており、その計算でいくと、その相殺はされておらず、計算上の問題である。
	【部会長】意見 実質公債費比率は、財政指標の中の6つの中で唯一達成をできていないところになるので、資料のコメントが重要なところだと思う。 記述の方を詳細に書き加えていただきたい。	
	【委員】 経常収支比率が、93.1%で目標に0.1ポイントならず、非常に惜しい気がするが、物件費などは年度途中でも、あまり使わないようにと言えば、達成できるのではないかと。 経常収支比率のコントロールは行っていないのか。	【市】 物件費などの抑制について、当初予算編成の時期から年度末にかけて、各所属の方に、コロナ禍や物価高騰等もあり財政状況がまだ厳しく、支出の内容をきちんと見極めるように、との通知は出している。 結果として0.1ポイント目標を達成できなかったことについては、引き続き取り組んでいきたい。
	【市】 働き方改革について、最近の動向として、通常業務では、どのくらい残業が減っているのか。	【市】 通常業務だけの分析というのはないが、福井市DX推進計画を策定し、近年DXの推進に取り組んでいる。 具体的には、繰り返し行う単純な入力業務を補助するRPAにより、令和4年度は約2,100時間の削減、また、AI議事録システムの導入により約500時間の削減になった。 そのほか、AIチャットボットの導入、電子決裁やペーパーレス会議の推進など業務効率化を進めている。 新たに加わる業務もあるため、通常業務としては横ばいもしくは減っているのではないかと。

<p>・令和4年度福井市決算状況について</p> <p>・財政再建の実施状況について</p>	<p>【委員】</p> <p>補助金の見直しについて、関係する団体の聞き取りなどを行ったとあるが、コロナ前に市が補助金を出した団体の数はどのくらいで、今回の聞き取りを行った団体数はどのくらいか。</p>	<p>【市】</p> <p>平成 30 年度には 145 団体あったが、実質的に存在しなくなっているという団体などもあり、令和5年度のヒアリング対象団体としては 113 団体で、平成30年度と比べて約 30 団体ほど減っている。</p>
	<p>【委員】</p> <p>職員数の適正化について、職員数が 111 人減少したとあるが、職員は減少したとしても、民間委託事業の費用が増えていけば何もならないが、その辺はどうか。</p>	<p>【市】</p> <p>例えば窓口などは、今は直営で進めており、民間委託が特に進んでいるということはない。</p> <p>人員が足りない部分については、会計年度任用職員を雇用し業務を行っており、大々的に民間委託をして人員を減らしていることはない。</p>
	<p>【委員】</p> <p>会計年度職員は、資料に書いてある 2,261 人の中に含まれるのか。</p>	<p>【市】</p> <p>会計年度任用職員は含まれていない。資料の職員数は正職員と再任用でフルタイムで働いている職員の合計数である。</p> <p>令和 5 年 4 月 1 日現在で、会計年度職員は 1,330 人おり、多くは保育園、こども園、小中学校の施設員、調理員、配膳員、公民館に配置している。</p>
	<p>【委員】</p> <p>会計年度職員の給料が人件費の中に入ると、職員数の数の動きと人件費の総額の動きが連動しないのではないのか。</p>	<p>【市】</p> <p>今後、職員数の記載のところで、記載方法を検討していきたい。</p>
	<p>【委員】</p> <p>人件費の総額が出ているが、内訳を聞くと正職員と会計年度職員の給与が混ざっており、他の市町と比べて、福井市職員の給与が高いか安いかがというのが、非常に判断しにくい。</p> <p>正職員と会計年度職員の給与は別にした方がよいのではないのか。</p>	
	<p>【委員】</p> <p>職員数と職員人件費の問題は、日本だけでなくアメリカでもあり、アメリカではパートタイム職員の時間数を全部足し上げて、フルタイムの人数に換算するという手法が一般的にとられている。</p> <p>一方で、それほどうまくいかないのが、パートタイムの頭数でこれだけになるというデータも作っていたりする。</p> <p>福井独自の人件費管理の仕組みを作ってもらえれば分かりやすくなるのではないのか。</p>	

<p>・令和4年度福井市決算状況について</p> <p>・財政再建の実施状況について</p>	<p>【委員】</p> <p>歳入歳出で減少額が多いものとして、歳入では国庫支出金、歳出では扶助費となっており、子育て関連の事業が減ったとの説明だったが、これからも政策として継続したほうがよいのではないか。</p>	<p>【市】</p> <p>子育て世帯や生活困窮世帯への臨時特別給付金の事業の終了により、国庫支出金が減少したが、これは国がコロナ対策や物価高騰対策ということで、臨時的に行ったものである。</p> <p>子育ての支援については、今、国も力を入れていくので、コロナ対策とはまた別の形で行っていくことになる。国の財源等は明らかにされていないが、当然地方自治体の方も一緒に取り組んでいかないといけないと思っているので、その状況を見極めながら取り組みを進めていきたい。</p>
	<p>【委員】</p> <p>人口減少により、歳入の市税がだんだん減っていくのではないかと。今後の見通しで、毎年どのくらい減っていくのか。</p>	<p>【市】</p> <p>市税が前年度と比べて5億円減少したのは、令和3年度に株式譲渡所得で少し大きなものがあり、その分、令和4年度は減になった。</p> <p>現時点での市税の見通しは、固定資産税などは増えているが、法人市民税は、少し減っている傾向にある。物価高騰が長期化し、市内の中小企業の方にも影響が出てくると、減少していく可能性があるが、そうならないように、国の経済対策等を見極めながら、市としても地域経済を下支えする施策や、市民生活に影響が出ないような施策をとっていきたい。</p>
	<p>【委員】</p> <p>施設マネジメントアクションプランの進捗について、全体的に計画以上に進んでいて、計画を達成したのでよいと思うが、財政的にはどのくらいプラスに貢献しているのか。</p>	<p>【市】</p> <p>具体的な財政削減効果については、財政再建計画の中で、施設管理経費の縮減として令和5年度までの5年間で5億2,000万円削減する目標を掲げていた。</p> <p>令和4年度末現在で、3億2,000万円の削減目標に対し、実績として累計で4億円強の削減ができています。</p>
	<p>【委員】</p> <p>野外趣味活動施設と水仙の里公園について、用地の土地所有は、借地か、市の所有か。</p>	<p>【市】</p> <p>すべてが市の土地でなく一部借地である。</p>
	<p>【委員】</p> <p>野外趣味活動施設と水仙の里公園について、応募なしとあるが、福井県内だけに募集しているのか、全国的に呼びかけをしているのか。</p>	<p>【市】</p> <p>県内、市内に限っておらず、全国的に広く募集をかけているが、現在まだ提案をいただけていない。</p>

<p>・令和4年度福井市決算状況について</p> <p>・財政再建の実施状況について</p>	<p>【委員】意見</p> <p>野外趣味活動施設は、横に鷹巣漁港があり、鷹巣荘もそばにあるし、場所的によい。水仙ミュージアムの方も、まだ建物がしっかりしているので、引き続き全国的に呼びかけをしてもらいたい。</p>	<p>【市】</p> <p>全国的にこういった未利用財産を抱えた自治体が非常に多くあり、いろいろなアイデアを出しながら、利活用に向けた取り組みを行っているところである。</p> <p>我々自身も全国的な事例を、いろいろ研究し、事業者の方に、逆にこちらが提案できるような対応にしたい。</p> <p>野外趣味活動施設については、温浴施設、宿泊施設も近隣にあるので、そういったところとのタイアップということも考えられ、一定程度、市側が財政負担をする中で、民間にうまく活用していただける方策を今後研究していきたい。</p>
<p>全体講評</p>	<p>【部会長】</p> <p>実質公債費比率について、資料のコメントでは読み解けない部分があるので、指標の作り方のコメントを増やすことに努めていただきたい。</p> <p>経常収支比率について、あと0.1%でコントロールできそうな数字だが、そういうことはせず、きちんと通達をして、全職員にコントロールをしてもらっていた。それを常に意識してもらって、財政改革の方に努めてもらいたい。</p> <p>働き方改革の取組みの指標、職員数と人件費について、数字の見せ方は海外諸国の事例も踏まえながら、工夫して検討いただきたい。福井市独自のあり方があってもよいのではないかという意見もあり、行財政改革のお手本になるような形を、取り組み状況、成果の中に反映してもらいたい。</p> <p>臨時特別給付金について、国のコロナ対策等に対応する形で支出を行っていたが、次年度からの方針に関しては、福井市の状況を踏まえ、それを鑑みながら考えていくという回答だった。</p> <p>施設マネジメントについて、応募がない状況のまま廃止の状況が続いている施設は、様々な公募の仕方を学び、いろいろな提案につなげてもらいたい。</p> <p>施設マネジメントの成果は、具体的な数字として5億2,000万円の目標に対し4億円強まで進んでおり、概ねしっかり達成ができていく状況にあるということが確認できた。</p>	